

とやまDXパートナー登録情報

事業者名 日本ソフテック株式会社

代表者	代表取締役社長 丸山祐市	問合せ先	DX推進室 室長 長守武志
所在地	富山県砺波市花島69	電話番号	0763341881
会社設立日	平成1年9月21日	Webサイト (問合せフォーム)	https://www.nsft.co.jp/
従業員数(人)	185		https://www.nsft.co.jp/contact/

営業エリア

☒ 県内全域

☐ その他

富山市

砺波市

立山町

高岡市

小矢部市

入善町

魚津市

南砺市

朝日町

氷見市

射水市

滑川市

舟橋村

黒部市

上市町

得意業種(上位5項目)

☒ 製造業

☒ 卸売・小売業

☒ 建設業

☒ 医療、福祉

☒ 運輸業、郵便業

金融業、保険業

宿泊業、飲食サービス業

不動産業、物品賃貸業

☒ 教育、学習支援業

その他サービス業

その他

支援可能分野

別紙のとおり

使用可能ツール・システム

- 【ローコードツール(業務改善のためのアプリ作成プラットフォーム)】
 - ・kintone
 - ・Google AppSheet
- 【AI活用のためのツール】
 - ・Google Gemini(生成AIチャット)
 - ・Dify(生成AIチャット、エージェント作成)
- 【コラボレーションツール／グループウェア】
 - ・Google Workspace
 - ・Microsoft365
- 【業務アプリケーション】
 - ・A/4 販売管理システム
 - ・PCA製品(販売管理、会計、人事管理、等)
 - ・OBC製品(販売管理、会計、人事管理、等)
- 【マニュアル管理／作成ツール】
 - ・Checkmate(チェックメイト)
- 【勤怠管理】
 - ・HRMOS勤怠管理

支援実績

DX推進伴走型支援(課題／業務見える化、改善提案)、生成AI業務活用支援、システム導入支援、ローコードツール伴走型活用支援

価格体系の公開状況

☒ 基本的な料金を公開している

【別紙】支援可能分野(複数選択)

①業務のデジタル化に向けた環境整備

- ☐ ペーパーレス化の推進支援(紙書類の電子化・ワークフロー化・文書共有システム導入支援等)
- ☐ オンライン会議システムの導入・活用支援
- ☐ コミュニケーションツール(チャット・共有・タスク管理等)の導入支援
- ☐ 生成AIの業務活用環境の導入支援(プロンプト設計、社内利用ルール整備、活用トレーニング)
- ☐ クラウドサービス利用環境の構築(メール、ストレージ等の基本的SaaS設定・移行)
- ☐ 勤怠・人事評価などバックオフィスのクラウド化支援
- ☐ オンライン研修・eラーニング環境の導入支援
- ☐ 社内情報共有ポータル構築支援(規程・マニュアルの電子化／ナレッジ共有基盤構築)

②業務プロセスのデジタル化・自動化

- ☐ 電子契約システム導入支援
- ☐ オンライン決済システム導入支援
- ☐ RPA導入支援(業務分析、ロボット作成・定着支援)
- ☐ SFA／CRM導入支援(顧客情報管理、営業支援システムの導入・活用)
- ☐ Webサイト・ECサイトの構築・改善支援
- ☐ データ分析基盤の構築支援(販売・顧客・業務データの可視化、簡易BI導入 等)
- ☐ IoTデバイス導入の初期支援(設備データの可視化、センサー導入、モニタリング)
- ☐ AIチャットボット導入支援

③デジタル技術を活用した業務最適化

- ☐ デジタルマーケティング戦略支援(SNS・SEO・広告・MA活用 等)
- ☐ 予知保全システム導入支援(設備データ分析等)
- ☐ 物流・在庫の最適化支援(IoT・AIを活用した在庫管理・配送最適化)
- ☐ スマートファクトリー化支援(設備連携、品質データの自動収集、工程データの最適化)
- ☐ パーソナライズ顧客体験の提供支援(レコメンド、顧客行動分析 等)
- ☐ デジタルツイン構築支援
- ☐ VR／ARを活用したシミュレーション・トレーニング支援
- ☐ データドリブン経営の導入支援(KPI設計・経営ダッシュボード作成)
- ☐ AI／機械学習の導入支援(モデル作成、画像認識、不良検知、需要予測 等)
- ☐ サイバーセキュリティ高度化支援(ゼロトラスト導入、継続的な脆弱性診断 等)

④デジタル技術を活用したビジネス変革・価値創造支援

- ☐ ビッグデータ分析・可視化支援
- ☐ 経営レベルでの生成AI活用支援(戦略策定、仮説設計、マネジメント活用)
- ☐ ブロックチェーン活用支援
- ☐ CO2可視化・削減システム導入支援
- ☐ 企業間データ連携・エコシステム構築支援
- ☐ 新たなデジタルビジネスモデル創出支援(サブスク、プラットフォーム、デジタルサービス)
- ☐ DX文化醸成・組織変革支援(意識改革、アジャイル体制整備、DX推進体制構築)

会社案内

日本ソフテック株式会社

社名 日本ソフテック株式会社

設立 平成元年 9月21日

役員
取締役会長 窪田 育夫
代表取締役社長 丸山 祐市
常務取締役 棚田 一郎
取締役 山田 貢
取締役顧問 中島 進

資本金 3,150万円

従業員 185名（2025年9月1日現在）

拠点
本社 : 富山県南砺市川除新888-2
東京支店 : 東京都千代田区内神田3-10-8 NSFTビル
砺波事業所 : 富山県砺波市花島69
井波事業所 : 富山県南砺市山見1343
システムラボラトリー : 富山県南砺市山見675
金沢支店 : 石川県金沢市疋田2丁目187番地

砺波事業所社屋



東京支店



SIサービス事業



業務改善や生産性向上のためのシステム提案

お客様の経営・業務の内容や課題・予算から、業務改善を行うIT化の提案をします。



柔軟なシステム開発・導入

実績をもとに、最適なシステムを構築。
・運用に合わせたオーダーメイドシステム ・CPに優れたパッケージソフト ・システム連携や自動化を得意とするSaaS



安定的なITインフラ整備

リモートアクセス、無線ネットワーク化、BCP（災害対策）、認証基盤の作成などのご要望に応じてITインフラ機器・クラウドプラットフォームの選定・ご提案を行います。



信頼性の高い情報セキュリティ対策

社内ネットワーク環境のセキュリティ対策をご提案します。
PCのウィルス対策ソフトからUTM等やシステムログ収集ツールまで幅広く製品を取り扱っております。



導入後も安心できる保守・運用サポート

システムやインフラを導入した後も継続してお客様のシステム・IT環境のサポートを行います。維持はもちろんのこと、さらなる改善・IT化のためのPDCAのご提案を行います。

ソフトウェア開発事業

豊富な保有技術をコアに、
信頼性の高いソフトウェアを
設計・開発いたします。

日本ソフテックは、創業以来培ってきた多様な開発スキルと実績を基に、日本全国のお客様に高品質な開発力を提供してまいりました。

ご要望に応じて、最適な要員配置や開発手法／厳格なプロジェクトおよび品質管理体制の構築により、コストパフォーマンスに優れた高品質のアプリケーションを提供することができます。

お客様のビジネス成長の手助けが出来ると思っています。

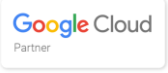


開発人員 160人（パートナー含め195人）

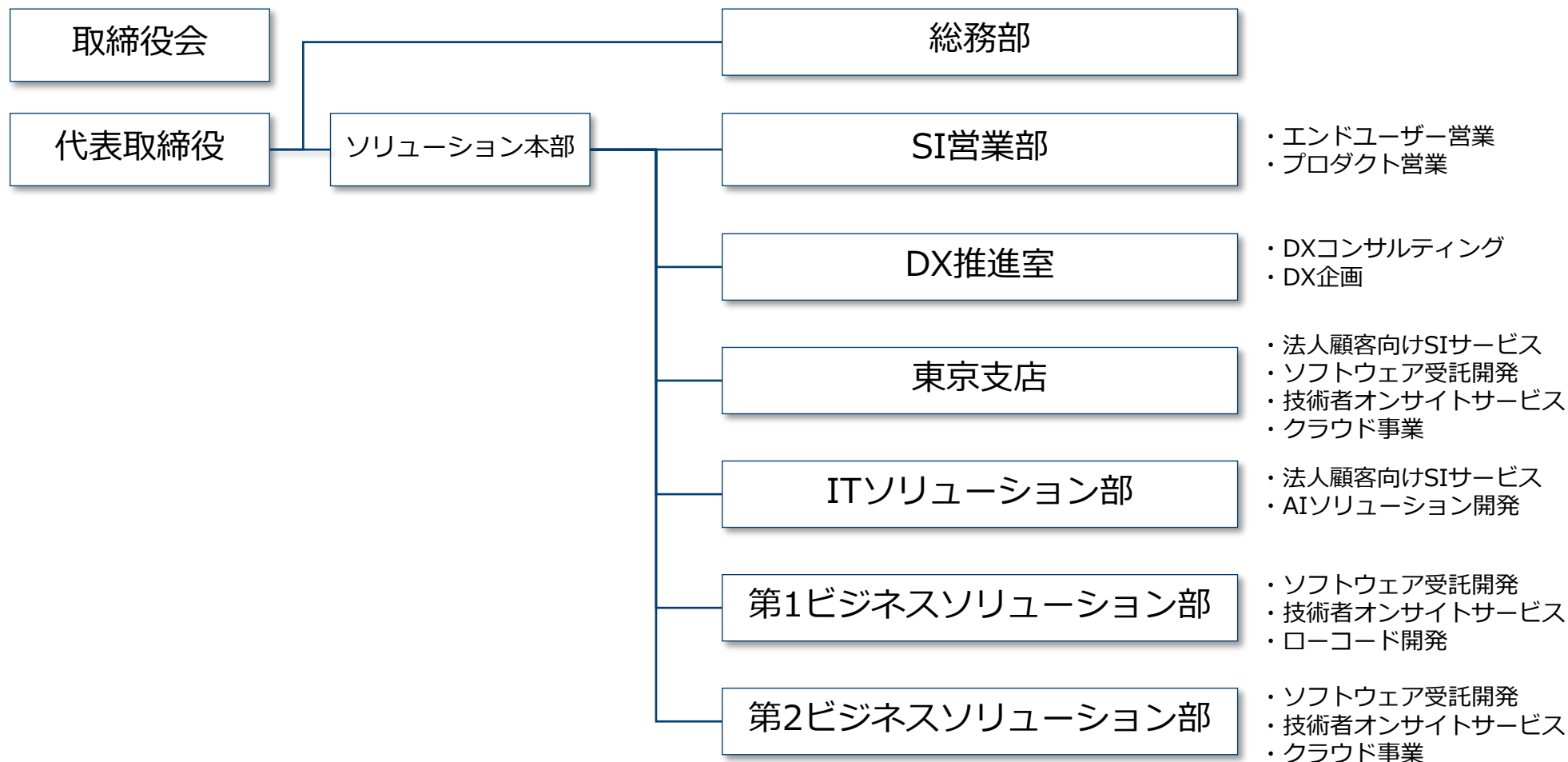
開発可能規模 数人月～100人月程

資格等
応用情報技術者 46名（取得率26%）
基本情報技術者 125名（取得率71%）
ITコーディネータ、その他上級資格、
Oracle AWS等ベンダー資格保持者多数

認証取得
プライバシーマーク（登録番号：19000454(07)）
ISMS ISO/IEC 27001:2022 & JIS Q 27001:2023（S本部）
DX認定制度  DX認定

ベンダー関連
Google Cloud™ 認定リセラー 
サイボウズ オフィシャルパートナー  
Oracle Cloud Infrastructure(OCI) パートナー  kintone

企業名	社員数	拠点	事業内容
 株式会社コンダクト	69名	金沢・東京・大阪・福岡・熊本	介護福祉医療事業者向けソフトウェア製品の開発、販売
 株式会社ナレッジ 2 1	26名	金沢	ソフトウェア受託開発 労働者派遣
日本ソフテックグループ  株式会社北陸コンピュータービジネス	17名	魚津	ソフトウェア受託開発 労働者派遣
 株式会社アドバンテックス	13名	東京	ソフトウェア受託開発 労働者派遣
 株式会社プロックス	21名	富山	ソフトウェア受託開発 労働者派遣



A/4 シリーズ

A/4 医療機器卸売業向け販売管理システム

A/4 RECYCLER 回収業向け販売管理システム

A/4 JANITOR 清掃業向け販売管理システム

A/4 看護協会向け会員管理システム

A/4 鶏卵販売管理システム

A/4 養鶏飼育管理システム

クラウド・ソリューション

Checkmate（クラウド型マニュアル作成ツール）

Kintone（ローコード）

Google Workspace

情報セキュリティ対策サービス

クラウド化支援サービス

（OCI・GCP・AWS・Azure・

さくらのクラウド）



01

最適なITソリューションの選択と開発力

お客様の「お困り事」を深くヒアリングし、業務の複雑性、利用者のITリテラシー、経営方針、ご予算といった多角的な要素を勘案した最適なIT化をご提案します。

特定の開発手法に偏ることなく、業務パッケージの導入、ローコード開発、そしてフルスクラッチ開発に至るまで、お客様に真にフィットする多様なソリューションから最適な選択肢をご提示し、実現します。



02

レガシーシステムからの確実なマイグレーション

導入ベンダーが不明なシステムや、古いサーバーOS、古いプログラム、Access・Excelで構築された業務システムなど、様々なレガシーシステムを新しい環境へ確実に移行（マイグレーション）します。

お客様の貴重な資産である既存システムを、安定した形で最新の技術・環境へ蘇らせ、将来にわたり活用いただけるようサポートいたします。



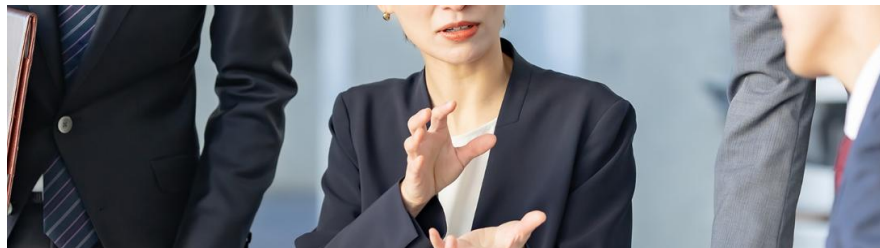
03

システム連携・統合によるDX推進支援

既存システムと新規システムの混在環境において、個別にバラバラになったシステム間のデータ連携を安価かつ柔軟に実現します。

部門や拠点ごとの分散システムを一つに統合することで、運用・保守のコストを大幅に削減し、業務の標準化を促進します。また、最適なクラウド化も視野に入れ、データ活用と業務変革を両輪で進めるお客様のDXを力強く支援します。





経験と実績に裏付けされた高い技術力で、品質を保ちます。

弊社には、多数の専門資格を保有したエンジニア・スタッフが在籍しており、長年の経験と実績に裏付けされた高い技術力が強みです。お客様の複雑なニーズや課題に対し、確かな技術力で高品質を保ちながら最適な企画・開発を可能にします。また、常に最新の技術動向を取り入れ、持続的な品質向上に努めています。

安定したマネジメント力で、プロジェクトを成功へ導きます。

弊社は、プロジェクトマネジメントの統括・管理を専門とするPMO（Project Management Office）部門を全社に設置しています。

円滑かつ着実な実行が求められるプロジェクトマネジメントを個人の能力に頼るのではなく組織的に支援すること、PMOは品質の安定と向上を目的としています。



機密情報・個人情報の適切な取り扱い維持と安全管理を徹底しています。

情報システム事業において、情報安全対策を最も重要な課題ととらえ、お客様の重要な情報を守る体制を徹底しています。

- ・ 2006年 プライバシーマーク付与認定
- ・ 2023年 ISMS (ISO/IEC 27001) 認証取得

全社員への教育を継続的に実施し、機密情報および個人情報の適切な取り扱いと安全管理を組織全体で維持しています。



利用端末	分類	システム	導入実績数
PC	業務システム	販売管理	80社以上
		在庫管理	50社以上
		工程管理	10社以上
		顧客管理/営業支援	10社以上
	Webシステム	ECサイト	10社以上
		ホームページ	30社以上
		会員サイト	20社以上
スマホ/ タブレット	業務アプリ	マニュアル管理	30社以上
		在庫管理	30社以上
	自治体アプリ	情報共有・発信系市民サービス	10自治体以上

全国
700社以上
に導入

A/4 Medical Device[エフォーメディカルデバイス] **ASFT**



医療機器ディーラーのノウハウが
ギュッと詰まった販売管理システム

『A/4 Medical Device』なら、医療機器ディーラー
特有の複雑な受発注業務・在庫管理業務が
驚くほどスムーズに！

2025年現在、45社の企業様にご利用頂いております。

業務を効率化できるワケ

医療機器ディーラーに特化！

- 施設別の単価設定
- メーカー預かり / 施設貸出
- JAHID-DB（商品データベース） / MD-Net（EDI発注）

**在庫処理が速い！
簡単！正確！**

- ハンディターミナルでバーコード
スキャン
- ロット / シリアル /
滅菌期限別管理
- トレーサビリティ

マニュアル作成アプリ「Checkmate」



Let's マニュアル!
Enjoy チェック!

Download on the App Store

日本ソフテック株式会社
田中 一郎

Checkmate
クラウド型マニュアル・チェックシート運用ツール

もう、手放せない。
アプリで、手軽にマニュアル管理してみませんか?

- AIでマニュアル作成をアシスト!
- 操作がわかりやすい!
- プッシュ通知で見逃す心配なし!
- 技術継承が簡単に!
- チェック機能で確実に!

Checkmate（チェックメイト）は、業務マニュアル、作業手順書、教育資料などの作成を効率的に行い、点検・確認を確実に実施するためのツールです。

作業の**標準化、省力化**に貢献します！

2025年現在、300社以上のお客様にご利用頂いております。

ローコード開発 サイボウズ社「kintone」



弊社では、サイボウズ社のDXツール「kintone（キントーン）」を使用して、お客様専用アプリの開発や導入サポート、運用保守まで一貫して対応しています。

アナログな業務のデジタル化を **素早く実現** します！

2025年現在、30社以上の企業様にご利用いただいております。



＼ 全部任せたい！ ／



＼ アプリまで作って欲しい！ ／



AppSheetでビジネスを加速します

Google AppSheet（アップシート）はGoogle社が提供しているノーコード開発ツールです。Google WorkspaceまたはAppSheetを当社からご導入しているお客様には、業務にすぐ使える当社オリジナルテンプレートを無償でご提供いたします。



プログラム知識不要で アプリ開発

テンプレートから選ぶだけで簡単にアプリケーションを作成できます。
公式のテンプレートは英語のため日本語化が必要ですが、当社独自の日本語版テンプレートを提供可能です。



Googleのサービスと 連携が容易

AppSheet は、Google のクラウドサービスとの親和性が高いです。
Gmailやスプレッドシート、カレンダーなどの各種サービスとの紐付けが簡単に、拡張性の高いアプリを作成できます。



デジタル化で 作業効率UP

複数の Excel ファイルでデータ管理していたり、ファイルへのデータ入力・共有のためのメールの一斉送信など、一連の作業を自動化できます。

開発言語

Java PHP Python C/C++
.NET(VB, C#) JavaScript PowerBuilder

フレームワーク / ライブラリ

Spring Boot Laravel Vue.js React
Flutter Xamarin ASP.NET MVC

OS

Windows Linux iOS Android

ローコード / ノーコード

kintone AppSheet

クラウドプラットフォーム

Oracle Cloud AWS GCP
Microsoft Azure さくらのクラウド

開発環境 / ツール

Docker Git Backlog Slack Meet
Zoom WordPress



この文書は、著作権法および不正競争防止法上の保護を受けています。
文書の一部あるいは全てについて、日本ソフテック株式会社から許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製、転記、転載、ノウハウの使用、企業秘密の開示等を行うことは禁じられています。
なお、本文記載の社名、製品名、ロゴは各社の商標または登録商標です。

伴走型支援で実現する DX戦略のご提案



「DX」は中小企業にこそ必要です

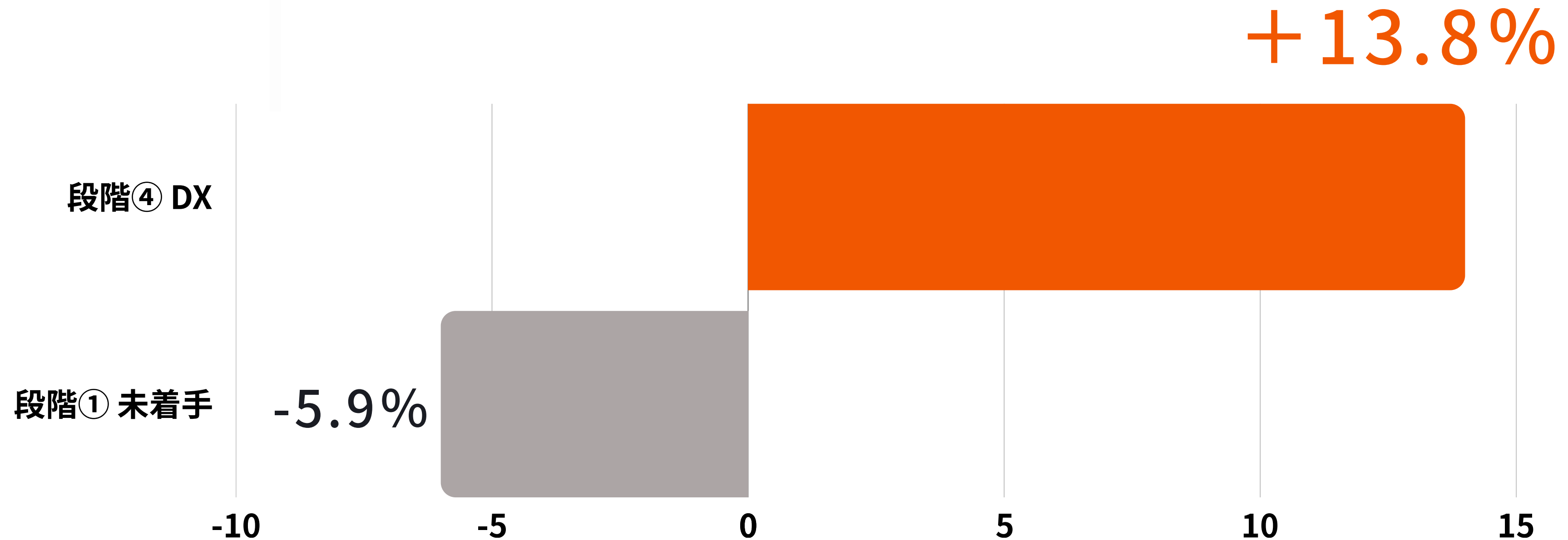
「DX（デジタルトランスフォーメーション）」と聞くと、
「大企業の話だろう」と感じる中小企業の経営者の方も少なくないかもしれません。

しかし、それは大きな誤解です。
実は、DXは中小企業にこそ大きなメリットをもたらし、事業成長の強力な武器となるのです。

- 中小企業は、大企業に比べて経営者の**意思決定が迅速**です。
新しい取り組みをスピーディーに導入でき、変化への対応も早いため、
DXによる**効果を短期間で実感**しやすいです
- そして、最大の追い風となっているのが、手軽に導入できるツールの劇的な増加です。
10年前には考えられなかったほど、インターネット環境さえあれば、
安価で簡単に使えるデジタルツールが豊富に提供されています。

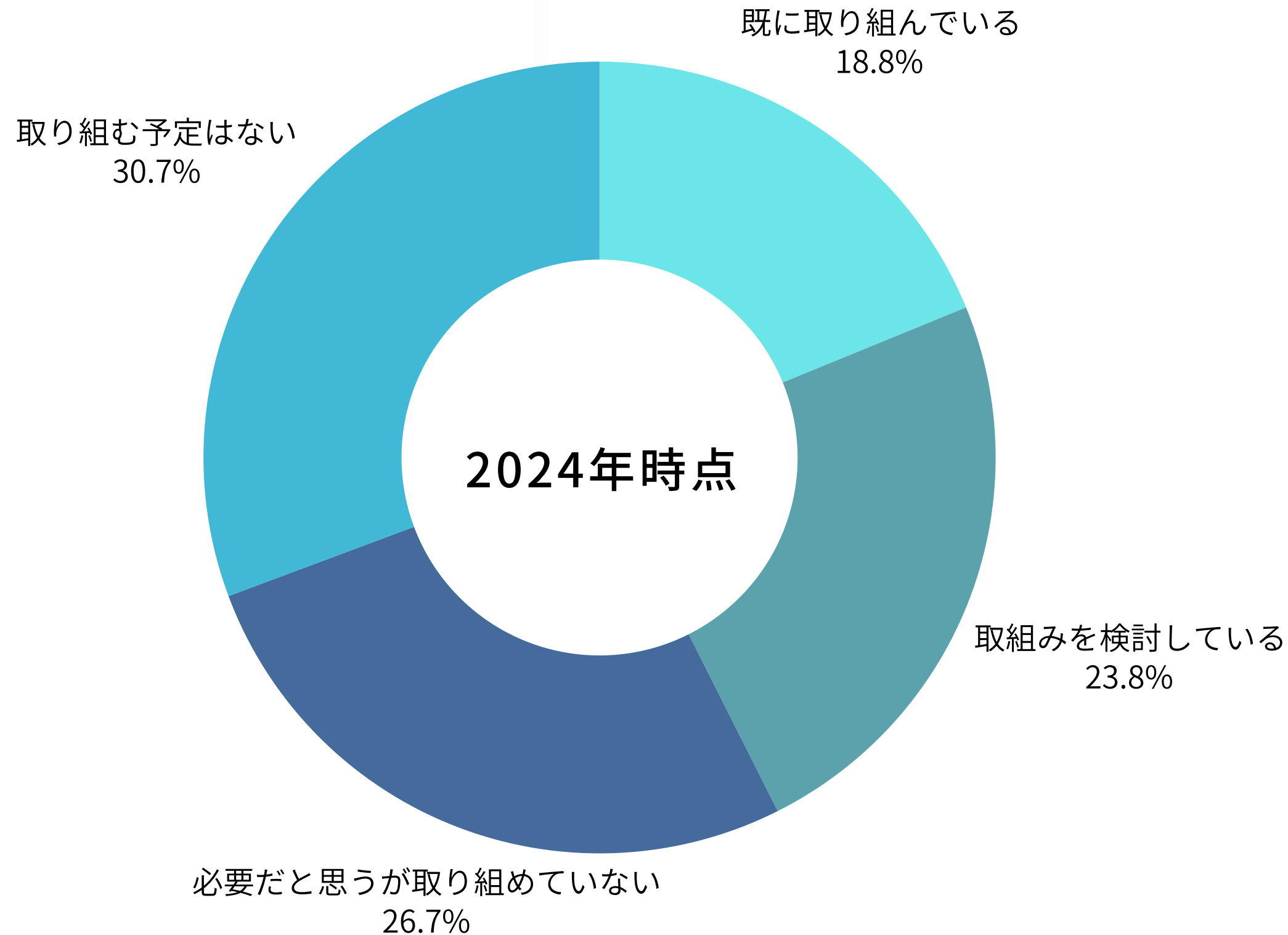
またDXと売り上げは直結しています (2015年と2021年の対比)

2015年から2021年のデータを見ると、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進した中小企業は売上高が平均で13.8%増加しました。一方で、DXに全く取り組んでいない企業では、売上高が5.9%減少していることが明らかになりました。



DXに取り組んでいる企業と、未着手の企業で売上高に **20%の差** が平均で生まれています

DXの取り組み状況 (n=1,000 単一回答)



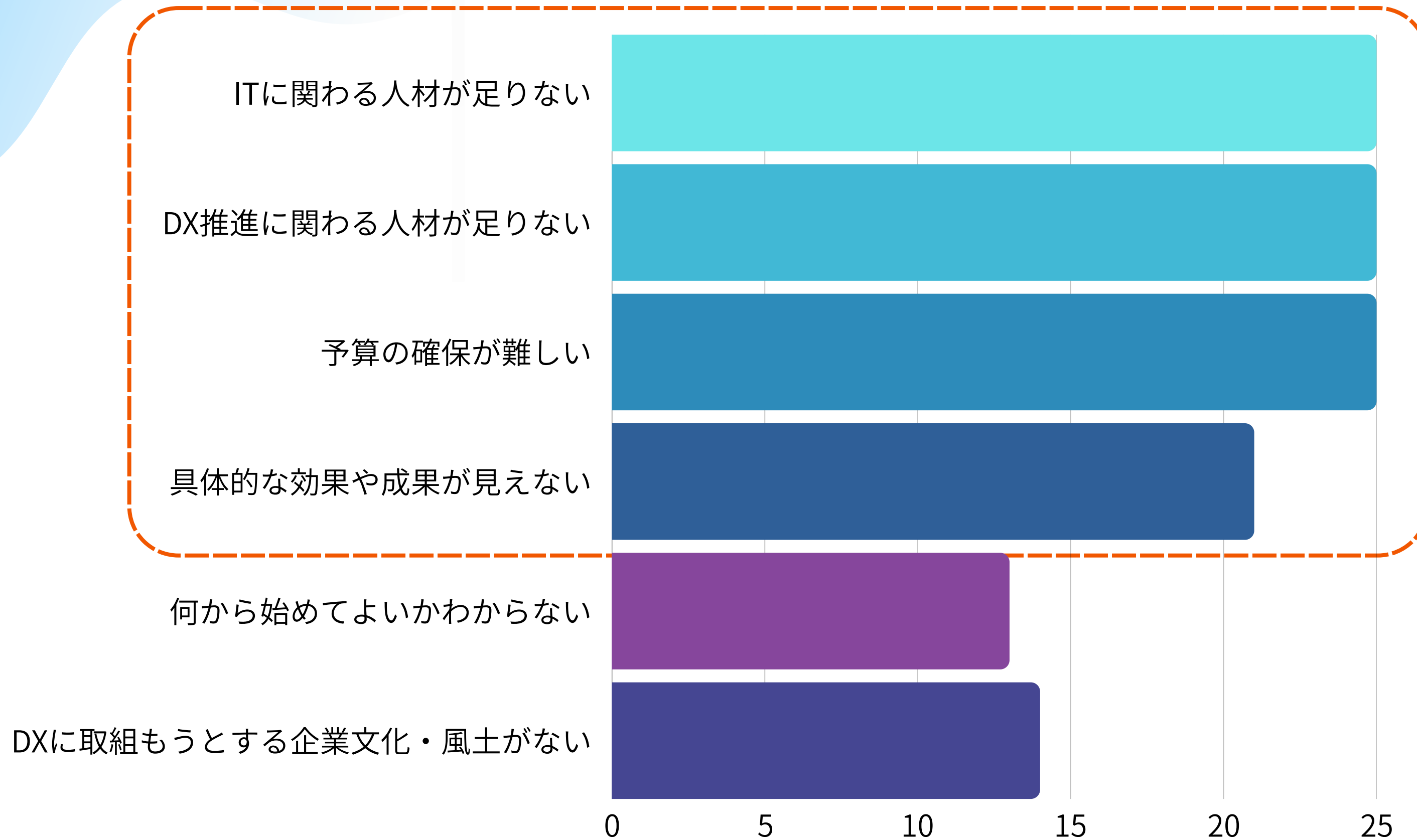
現段階で取り組んでいる企業様は「18.8%」

8割の企業様は
DXに取り組めておりません

一方、言い方を変えれば

8割の企業が
成長の伸びしろを有しています

DXの課題は？



1位・2位を占めるのは
「人材不足」

「人材不足・予算不足」

これがネックになっています

誰が責任者で誰が決めるの？
権限の所在が分からない

結局、何のためにやるのかが明確じゃないんだよね
目的がフワフワしてる

今の業務で手一杯で、
新しいことまで手が回らないよ



新しいシステムを入れても、
結局使いこなせないんじゃないかと不安

予算が足りない
結局、形だけのDXで終わっちゃうんでしょ

これまで築き上げてきたやり方
を変えることへの抵抗感が強い

「DX」の推進は 私たちと成功させませんか？

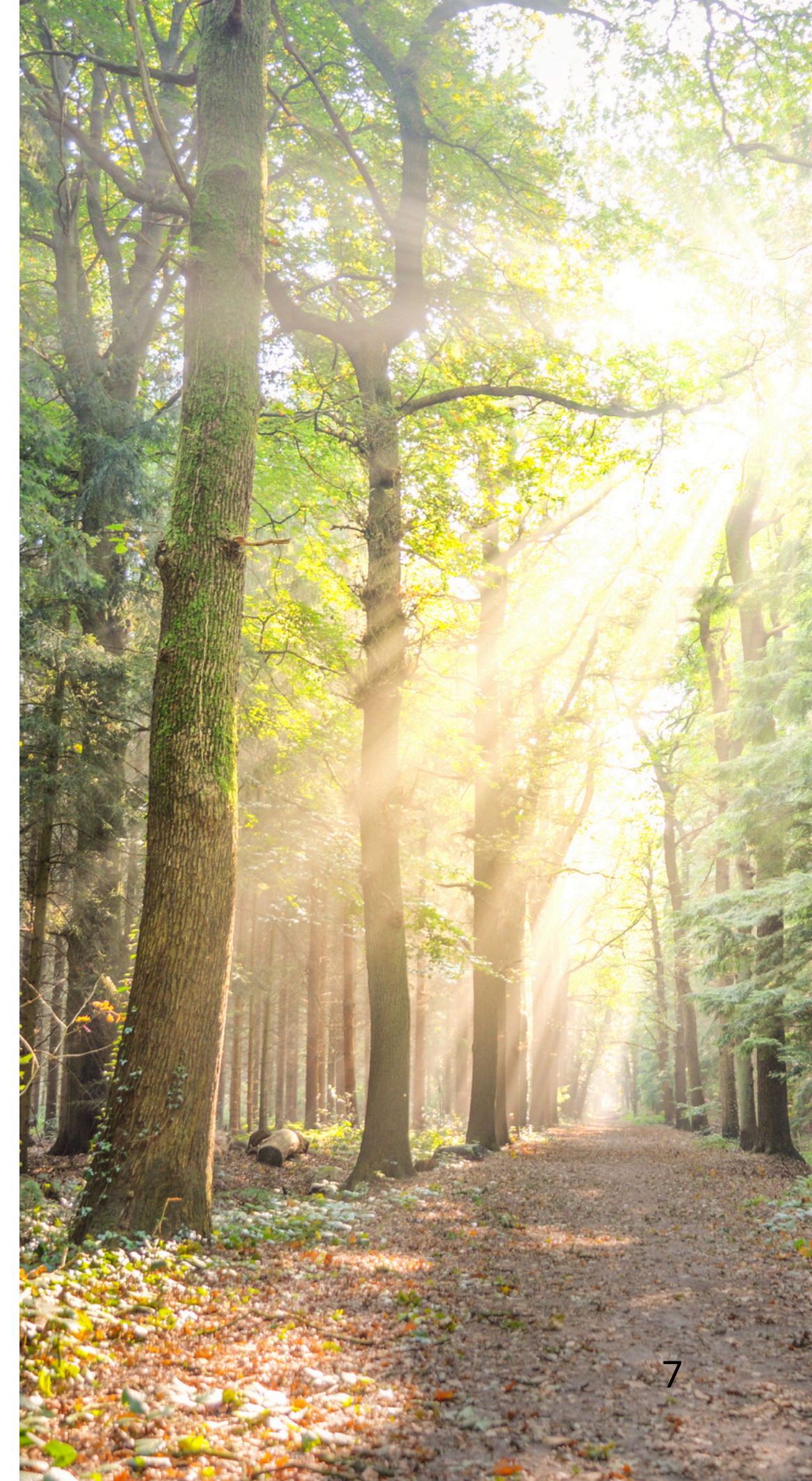
私たちは、DX推進における現場の「困った」に寄り添い、
貴社に最適な解決策を提供します。

人材不足は、多くの企業が直面する喫緊の課題であり、すぐに解決できるものではありません。
しかし、だからといってDXへの取り組みを諦める必要はありません。
人材が足りない状況、むしろその状況だからこそ、デジタル化を優先すべきです。

デジタル化は、単に業務を効率化するだけでなく、
既存の業務プロセスそのものを変革する力を秘めています。

デジタル化を進めることで、
紙や手作業が中心だった業務を効率化し、よりスマートな働き方を実現できます。

人材不足を乗り越え、持続的に成長していくために、
まずは「デジタル化」から着手し、未来に向けた第一歩を踏み出しませんか？



じゃあ、何から始めれば・・・？

まず 伴走型ヒアリング から

貴社独自の最適な一步を見つけます

DX推進は、企業様ごとに状況も課題も異なります
そのため、「これをやれば万事解決」という画一的な答えはありません
私たちは、お客様の状況を深く理解することから始めます



DXの取り組み方法

- 「効果が出やすい」
- 「小さい」
- 「取り組みやすい」

から始めます

お客様の進捗に合わせて調整していきます



＊上記の過程で「DX認定」や各種認定の取得
補助金の活用などの支援も可能です

日本ソフテック DX事例集

データの有効活用による改善事例

社員規模

50～100名

事業概要

工場設備の構築・メンテナンス

■ DX取り組みのきっかけ

DXに取り組むきっかけとなったのは、複数のWEBシステムに分散している情報を一元的に集約し、全社員が容易に閲覧できる統合されたプラットフォームを構築したいという明確なニーズがあったからです。特に、導入済みの原価管理システムから得られるデータをさらに有効活用し、付加情報の管理や分析を効率化したいという強い要望が、この取り組みを推進する原動力となりました。



■ DXで解決したい課題

DXを通じて解決を目指したのは、大きく分けて三つの課題でした。一つは、情報が複数のシステムに散在していることによる、情報共有の非効率性です。次に、原価管理システムのデータが十分に活用されておらず、付加情報の管理や分析が不足している点も課題でした。さらに、従来のExcelを用いた帳票管理においては、入力内容のばらつきや最新版の管理が困難であるという運用上の問題も抱えていました。



■ DXの効果

このDXの取り組みにより、複数の効果がありました。

まず、原価管理システムと連携する業務システムの導入によって入力項目が分かりやすくなった結果、**情報入力にかかる時間が大幅に短縮**され、業務効率が向上しました。

次に、出力される帳票の最新版管理が容易になったことで、**全体の管理体制が強化**されました。これにより、以前のExcel運用で生じていた情報のばらつきやバージョン管理の困難さが解消されました。総じて、既存の「どっと原価NEO」のデータをkintoneと連携させて活用することで、情報の集約と、より**正確で効率的な管理・分析**が実現しました。



データ管理の安全性と利便性向上

社員規模

30～50名

事業概要

一般貨物自動車運
送事業

■ DX取り組みのきっかけ

日常的に使用していたUSBメモリの破損により、データの損失という事態に直面しました。この経験から、属人的でリスクの高いデータ管理体制の抜本的な見直しが喫緊の課題となりました。
データ管理の見直しを進める中で、システムのクラウド化計画、迷惑メールの増加、非効率なファイル共有といった複数の課題も明らかになりました。

■ DXで解決したい課題

上記の課題を解決するため、同社はクラウド型のグループウェア導入によって3つの目的を達成することを目指しました。

データ資産の保護とセキュリティ強化:

老朽化したファイルサーバーやUSBメモリに依存した管理体制から脱却し、データを堅牢なクラウドストレージへ移行させることでした。これにより、ハードウェア故障によるデータ消失リスクを抜本的に解消することを目的としました。

業務プロセス効率化とリアルタイム情報共有:

「1人ずつしか編集できない」という業務のボトルネックを解消するため、複数人が同時編集可能な環境を構築することを目指しました。

IT管理の簡素化と働き方の柔軟性向上:

迷惑メール対策をサーバー側で一元管理することで、従業員と管理者の双方の負担を軽減することを狙いました。

■ DXの効果

グループウェアの導入により、以下の効果が生まれました。

データ管理の安全性と利便性の両立:

データはGoogleドライブに集約され、ハードウェア故障による消失リスクが大幅に低減されました。従業員は従来と変わらないフォルダ形式でファイル操作ができるため、スムーズに新しい環境へ移行できました。

劇的な業務効率の向上:

Googleスプレッドシートの導入により、ファイルは基本的に複数人で同時に編集可能になりました。変更履歴が自動で保存されるため、誤って修正・削除した場合も簡単に復元でき、安心して業務に取り組めるようになりました。

管理負担の軽減とセキュリティ向上:

高性能な迷惑メールフィルタにより、従業員が個々に対応する必要はなくなりました。また、退職や異動時のアカウント管理も一元的に行えるようになり、引き継ぎが柔軟かつ安全になりました。



工事原価データの把握と有効活用

社員規模

10～30名

事業概要

土木工事

■ DX取り組みのきっかけ

従来から紙とExcelによる工事原価管理を行っており、これが大きな課題となっていました。具体的には、情報の集計に膨大な時間がかかり、リアルタイムでの損益把握が困難であることが常態化し、工事の工数見積もりに関する問題を常に抱えている状況でした。

これに加え、働き方改革推進（長時間労働の是正）への対応といった課題も抱えており、これらの解決もDXに取り組む大きな動機となりました。



■ DXで解決したい課題

上記の課題を解決するため、同社はクラウド型のグループウェア導入によって3つの目的を達成することを目指しました。

工事原価のリアルタイム把握と損益管理の実現：

工事ごとの原価と利益率をリアルタイムで可視化することで、赤字工事のリスクを低減し、迅速な経営判断を可能にすること。

長時間労働の是正と生産性向上：

紙やExcelによる手作業、二重入力といった非効率な業務を削減し、事務作業にかかる時間を大幅に短縮することで、社員の負担を軽減し、本来のコア業務に集中できる環境を整えること。

将来的な経営戦略へのデータ活用：

蓄積された工事データや原価データを活用し、より正確な見積もり作成や経営戦略の立案に役立てること。

■ DXの効果

定性的な成果 経営の迅速化：

データに基づいた迅速な経営判断が可能となり、経営層がよりの確な意思決定を下せるようになりました。

生産性の向上：

紙からの転記やExcelへの入力作業がなくなり、二重入力の手間も削減されたことで、全社員が本来の業務に集中できるようになり、会社全体の生産性が向上しました。

未来への投資：

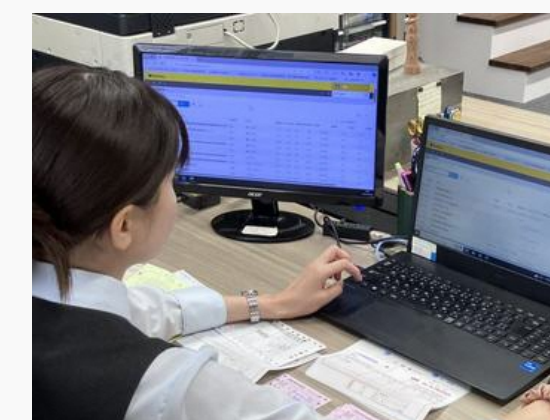
蓄積されたデータは、今後のより正確な見積もり作成や、経営戦略の立案に活用できる貴重な資産となりました

定量的な成果 業務時間の削減：

工事原価の集計・報告にかかる時間が月あたり約20時間削減され、事務担当者の残業時間も平均で月2時間削減されました。

コスト削減：

ペーパーレス化により、印刷・保管コストを約10%削減しました。



組織再編への対応とデータ分析向上

社員規模

50～100名

事業概要

自動車部品製造

■ DX取り組みのきっかけ

DXに取り組んだきっかけは、グループの統合という組織再編でした。当時使用していた生産管理システムが統合後に利用できなくなることが決まり、限られた期間内に新しいシステムの準備が急務となりました。

この喫緊の課題に対し、従来の使い勝手も考慮しつつ、柔軟な提案とスムーズな移行を可能にするシステム導入が求められました



■ DXで解決したい課題

このDXでは、主に二つの課題解決を目指しました。

グループ統合に伴い使用できなくなる既存の生産管理システムを、期限までに新しいシステムへ置き換えること。

もう一つは、新システムを通じて業務効率とコスト削減を実現することです。具体的には、データ修正の手間削減や、専門のBIツールに頼らず自社で自由にデータ集計・分析を行えるようにすることで、ライセンス費用の圧縮と、より経営に活用できるデータ分析環境の構築を目指しました。



■ DXの効果



新生産管理システムの導入により、業務プロセスにおいて具体的な改善効果が生まれました。従来なかったデータ修正機能が加わったことで、変更にかかる手間が削減され、専門BIツールを使わずに自社で**データ集計・分析が可能**になり、ライセンス費用の圧縮に繋がりました。システム切り替え時の大きなトラブルもなく、当初の目標を達成。今後は横断的なデータ分析を通じて、さらなる経営活用を目指しており、継続的な**業務改善と生産性向上**に繋がっています。

子育て世帯への安心と利便性の提供

社員規模

100～500名

事業概要

地方自治体

■ DX取り組みのきっかけ

保健師による手厚い乳幼児健診後のフォローや、子育て支援センターでの仲間づくり支援など、元々地域全体で子どもを見守る体制が特徴でした。しかし、少子化・人口減少対策として子育て世代へのケアが喫緊の課題となる中、子育ての悩みをどこに相談したら良いか分からないという声が多く、妊娠期から切れ目のない支援の必要性が高まっていました。特にコロナ禍では孤立や不安が増大し、ワンオペ育児の負担軽減、必要な情報を適時届ける仕組みの構築が急務でした。



■ DXで解決したい課題



DXの目的は、子育て世帯が直面する複数の課題を解決し、「どこでもドア」のようにアクセスしやすい子育て支援窓口を構築することでした。

具体的には、場所や時間を選ばずに気軽に相談できる1対1のチャット機能、保護者同士が交流し、不安を分かち合い、仲間づくりができる掲示板機能、そして妊娠から子育てまで、必要な情報が自動でプッシュ通知される情報発信機能を導入し、子育て世帯の孤立を防ぎ、安心感を高めることを目指しました。

■ DXの効果



子育て支援アプリの導入により、利用者からは高い評価を得ています。特に、24時間いつでも職員に相談できるチャット機能や、パーソナライズされた子育て情報が届く機能は好評で、「私に必要な情報が満載！」「職員との相談が心強い」といった声が寄せられています。これにより、**子育て世帯の不安軽減**と、より質の高い**子育て支援サービスの提供**が実現しました。アプリを通じたデジタル化は、市民サービスの利便性を大幅に向上させ、地域のDX推進と市民生活の質の向上に大きく貢献しています。

業務効率化による時間の有効活用

社員規模

30~50名

事業概要

保育園

■ DX取り組みのきっかけ

DXへの取り組みは、各姉妹園に点在する高価な知育玩具の「所在不明」という深刻な課題を解決するために始まりました。従来、玩具の管理は保育士個人の記憶や手書きの台帳に依存しており、非常に煩雑で非効率でした。その結果、どの園にどんな玩具が何個あるのかを正確に把握できず、玩具の探索に多くの時間が費やされていました。この状況を放置すれば、本来注力すべき子どもと向き合う時間がさらに圧迫されるという危機感から、DXによる抜本的な改革を決意しました。



■ DXで解決したい課題



玩具の在庫を正確に把握できないため、既に所有しているにもかかわらず、同じ玩具を重複して購入してしまうケースが多発していました。これは経営における無駄なコストを生み出すだけでなく、高価な知育玩具という貴重な資産が十分に活用されていない状態でもありました。

まずは資産の管理を簡易化することにより、子供たちと触れ合える時間を更に伸ばすということをも一つの目標としました。



■ DXの効果

DXを推進した結果、以下のような多岐にわたる効果が生まれました。

1. 業務効率化とコスト削減

玩具の管理システムを導入したことで、重複購入はゼロになり、コスト削減に大きく貢献しました。また、数日かかっていた棚卸し作業は数時間で完了できるようになり、保育士の業務負担を大幅に軽減しました。

2. 保育の質の向上と資産の有効活用

管理業務の効率化によって生まれた時間は、子どもたちと関わる時間や、保育の質の向上に直接充てられるようになりました。

さらに、園をまたいだ玩具の貸し借りがスムーズになり、姉妹園間で多様な知育玩具を共有できるようになったことで、貴重な資産がより有効に活用されています。

